



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和3年(2021年)
第4回定例会

No.264

令和4年(2022年)
2月1日発行

特集

議会報告会@ひびき

今回のテーマは、委員会が取り組む「所管事務調査」

定例会では
新型コロナ再拡大に備えた
補正予算も可決

「冬暁 ～小比企丘陵からの」(小比企町)

今号は、市内在勤(匿名)の方の作品です。

 小比企丘陵からの眺め

畑地が広がり、酪農も営まれるなど、市内農業生産の主要な地域となっている小比企丘陵。小高い丘の上からの眺めは、山田町にある雲龍寺の五重塔や雪化粧の富士山、左手前には富士隠しと言われる大室山が、冬の朝の空に映えています。

令和3年 第4回 定例会

本会議

市長提出議案78件を可決

3年第4回定例会は、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催しました。

本会議において議案を審議し、市長提出議案78件を可決したほか、議員提出議案の意見書1件を否決しました。

可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

◆全議案名や審議結果は4ページへ

可決した付託省略議案

■市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

期末手当の年間支給月数を引き下げ

■市長等の給与に関する条例の一部改正

■職員の給与に関する条例の一部改正

■固定資産評価審査委員会委員の選任(齊藤園生氏)

■固定資産評価審査委員会委員の選任(高橋由美子氏)

■固定資産評価審査委員会委員の選任(高橋由美子氏)



本会議のようす

■保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例設定

【ほか18件】

■指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

【ほか2件】

■一般会計補正予算(第6号)の専決処分

■給与及び公共料金特別会計補正予算(第4号)の専決処分

議員提出議案

議員提出議案は、意見書1件を審議し、否決しました。

委員会

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案49件は、各常任委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 12月7日

■一般会計補正予算(第7号)

都に委託の常備消防事務の負担額確定による増額

問 都に委託している常備消防の費用の増額理由は、消防職員の給与、自動車関係経費、資機材調達の費用などが増額となり、国が定める算出の基準となる費用が上がったためである。

答 関係経費、資機材調達の費用などが増額となり、国が定める算出の基準となる費用が上がったためである。

問 常備消防は都に委託しているが、防災の責任は市にあるのではないか。

答 都に委ねている常備消防は防災の一部分である。地域の広い本市では、火災だけではなく、さまざまな災害対策において非常備消防である消防団の担っている役割も大きい。防災力・消防力を高めるため、消



事務の合理化や消防力の強化等を目的に委託し、都が設置している八王子消防署

防団の支援も含め、より一層の充実に努めていきたい。

結果 可決すべきものと決定

■長房ふれあい館の指定管理者の指定

長房ふれあい館の指定管理者を指定

問 指定管理の応募者が1者であった理由をどのように考えているか。

答 本施設は高齢者機能の部分には無料のほか、コミュニティ施設の部分についても低い料金設定であり、利益を出す施設ではないため、民間企業の参入には、つながらない面はあると感じている。

結果 可決すべきものと決定

※常備消防Ⅱ市町村にある消防署などのこと。対して消防団は「非常備消防」という。

文教経済委員会

開催日 12月7日

■学童保育所の指定管理者の指定(23件)

学童保育所の指定管理者を指定

問 4カ所の学童保育所の指定管理者を変更するとのことだが、子どもたちが混乱せず、保育の質が担保されるように引き継がないか。

答 指定管理者を変更する学童保育所には、2カ月間の引き継ぎ期間を設けている。また、現在働いている指導員が希望する場合には、継続して雇用されるよう、橋渡しするなど、なるべく保育環境が変わらないように取り組んでいる。

結果 可決すべきものと決定

■国指定史跡八王子城跡保存用地の取得

八王子城跡の保存のための用地を取得

問 八王子城跡は、貴重な史跡であり、保存のために、さらに公有地化を進めてもらいたい。現在の状況は。

答 史跡として指定されている区域の面積約159万平

厚生委員会

開催日 12月8日

■一般会計補正予算(第7号)

コロナ感染拡大に備え、保健所事務の一部を委託

方メートルのうち、今回の取得で、およそ1割を公有地化することとなる。

問 公有地化することで、保存・整備を進めやすくなると思うが、今後の用地取得の考えは。

答 御主殿跡のある地区など歴史上の価値が高い箇所を中心に、取得していく。

結果 可決すべきものと決定

■農村環境改善センターの指定管理者の指定(2件)

農村環境改善センターの指定管理者を指定

問 恩方農村環境改善センターの隣にある恩方事務所で、施設の貸し出し等の業務を担えると思う。センターに指定管理者制度をあえて導入している理由を聞きたい。

答 センターは、地域の農村環境の改善を目的としており、指定管理者制度を導入することで、農林業をいかに地域へのイベント等をより効率的に運営できるためである。

結果 可決すべきものと決定

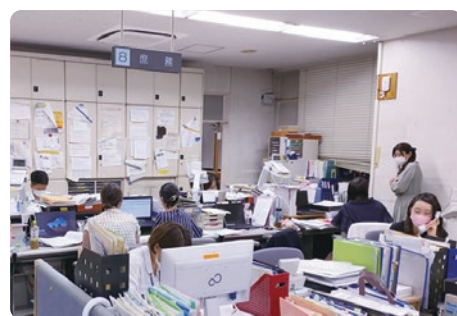
《市からの主な報告事項》
「教育委員会いじめの防止等に関する基本的な方針」の改定案

都市環境委員会

開催日 12月8日

■一般会計補正予算(第7号)

新たな都市づくりに向けて基礎調査を実施



新型コロナの感染者に対し、感染状況や体調の聞き取り等を行う保健所の感染症担当

普及啓発など割愛してきた事業にも取り組んでいきたい。

結果 可決すべきものと決定

■戸吹湯つたり館条例の廃止

戸吹湯つたり館を令和4年3月31日に閉館※

問 地域住民は、利用者減少による閉館を、やむなく受け入れるとのことだが、今後の要望などへの対応は。

答 本地域には、清掃事業所もあることから、今後も地域の理解を得ながら協議を進めていく。地域にとって、より良い環境整備ができるよう対応していく。

結果 可決すべきものと決定

《市からの報告事項》
高齢者就労的支援事業の開始

都市環境委員会

開催日 12月8日

■一般会計補正予算(第7号)

新たな都市づくりに向けて基礎調査を実施

問 コロナ禍による変化に対応した都市づくりのための調査は、単に国が掲げる方向性を目指すのではなく、市の基本構想を見据え、実質的に役立つものにするべきではないか。

答 コロナ禍での変化は、首都圏に近接しながら緑豊かな環境の本市にとって、移住希望者の増加など良い影響もあると考えている。国の踏襲ではなく、この変化をどのように都市づくりにいかすかという観点で、調査に取り組んでいきたい。

結果 可決すべきものと決定

■都市公園の指定管理者の指定

上柚木公園の指定管理者を指定

問 上柚木公園の指定管理者が変更となっているが、今回選定した候補者からは、どのような提案があったのか。

答 テニスコートの営業時間拡大のほか、貴重品ロッカーやミストシャワーの設置など

《市からの報告事項》
八王子駅南口集いの拠点整備事業における実施方針等の公表

の提案があった。
結果 可決すべきものと決定

■都市計画八王子中央公園用地の取得

八王子駅南口集いの拠点整備のための用地を取得

問 医療刑務所跡地の取得金額は、国が行った地下埋設物の調査結果をもとに積算したとのことだが、今後、埋設物が見つかった場合、金額変更の可能性は。

答 国は詳細な調査を行ったとのことであり、今後の金額変更は想定していない。

結果 可決すべきものと決定



国有地の医療刑務所跡地を取得し、学び・交流・防災の機能を備えた集いの拠点を整備

令和3年(2021年) 第4回定例会			議案の審議結果一覧		会派の賛否						結果
					自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	
市長提出議案 78件				付託委員会	13人 ^{※1}	10人	4人	3人	3人	4人	
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任【2件】 (齊藤園生氏、高橋由美子氏)			—	○12欠1	○	○	○	○	○	同意
専決 処分	一般会計補正予算(第6号)の専決処分			—	○12欠1	○	○	○	○	○	承認
	給与及び公共料金特別会計補正予算(第4号)の専決処分										
補正 予算	一般会計補正予算(第7号)			全	○12欠1	○	○	×	○	○	可決
	給与及び公共料金特別会計補正予算(第5号)			総	○12欠1	○	○	○	○	○	可決
条例 (主な内容)	職員の給与に関する条例の一部改正(都人事委員会勧告に準拠し、期末・勤勉手当の年間支給月数を引き下げ)			—	○12欠1	○	○	○	○	○	可決
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (職員の改定に準拠し、期末手当の年間支給月数を引き下げ)										
	市長等の給与に関する条例の一部改正 (職員の改定に準拠し、期末手当の年間支給月数を引き下げ)										
	保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例設定／婦人保護施設の設備及び運営の基準に関する条例設定／養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例設定／特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例設定／軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例設定／指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例設定／障害福祉サービス事業の設備及び運営の基準に関する条例設定／指定障害者支援施設の設備及び運営の基準に関する条例設定／障害者支援施設の設備及び運営の基準に関する条例設定／地域活動支援センターの設備及び運営の基準に関する条例設定／福祉ホームの設備及び運営の基準に関する条例設定／指定居宅サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例設定／指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例設定／指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例設定／指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例設定／指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例設定／介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例設定／介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例設定／指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例設定 (条例と規則に分けて規定していた基準を条例に一本化)										
	指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正／指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正／指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部改正 (引用する条例の改正に伴い条項を整備)										
	戸吹湯ったり館条例の廃止 (戸吹湯ったり館を閉館することによる条例の廃止)										
	国民健康保険条例の一部改正 (成年年齢の引き下げに伴う結核医療給付金の支給要件の改正)										
	手数料条例の一部改正 (法改正に伴う長期優良住宅建築等計画に関する申請手数料の改正)										
	下水道条例の一部改正(法改正に伴う下水道使用料の徴収方法の変更)										
	契約	都市計画八王子中央公園用地の取得									
国指定史跡八王子城跡保存用地の取得			文								
パーソナル・コンピュータ等の取得											
学校給食センター・檜原新築工事請負契約の締結											
学校給食センター・檜原電気設備工事請負契約の締結											
学校給食センター・檜原給排水衛生等設備工事請負契約の締結											
指定 管理者	学校給食センター・檜原空調換気等設備工事請負契約の締結			総	○12欠1	○	○	○	○	○	可決
	長房ふれあい館の指定管理者の指定										
	児童保育所の指定管理者の指定【20件】 (八木町・千人町・第一小・第四小・子安・寺町・台町・中野・清水小・大和田小・第十小・由木西小・横川・からまつ・川口・上川口小・加住小・みなみ野君田小・石川・久保山児童保育所)										
	指定管理者の指定【4件】(タヤけ小やけふれあいの里、恩方農村環境改善センター、上川農村環境改善センター、道の駅八王子滝山)										
	老人憩いの家の指定管理者の指定(恩方老人憩いの家)										
	都市公園の指定管理者の指定【6件】 (西放射線横山町公園ほか北部地区公園151施設、新和田公園ほか東北部地区公園98施設、高尾駒木野庭園、富士見台公園ほか西由木地区公園80施設、上柚木公園、堀之内東山すだじい緑道ほか東由木地区公園80施設)										
その他	児童保育所の指定管理者の指定【3件】 (上菅分方・元八王子東小・元八王子児童保育所)			文	○12欠1	○	○	×	○	○	可決
	市道路線の認定			都	○12欠1	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 1件				付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果
意見書 ^{※2}	地球温暖化防止対策の一層の強化を求める意見書			—	×12欠1	×	×	○	○	○	否決

○：賛成 ×：反対 欠：本会議を欠席

<会派名>
 自民党：自民党新政会
 公明党：八王子市議会公明党
 市民ク：市民クラブ
 共産党：日本共産党八王子市議会議員団
 立憲民：立憲民主・市民の会
 諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>
 総：総務企画委員会
 文：文教経済委員会
 厚：厚生委員会
 都：都市環境委員会
 全：4常任委員会(総・文・厚・都)
 一：付託せず

※1 議長を除く
 ※2 意見書の全文はこちら⇒ 

市政の

ココを



現状は

課題は

今後は

聞きました

一般質問

11月30日から4日間にわたり29人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

選挙

高齢社会に対応した

投票環境の改善を

問

投票意思はあるが、入院等により投票所に行けない高齢者に対応した投票環境を整備するため、不在者投票ができる病院や老人ホームなどの施設をさらに増やせないか。

答

投票機会の確保のために、も、不在者投票ができる施設を拡充すべきと考えている。そのためには都選挙管理委員会の指定が必要となることから、未指定の施設に毎年、制度の案内を送付しており、協力の意向がある施設には、現地に出向き、体制整備のために必要なことなど、制度について詳細な説明を行っている。

問

郵便等による不在者投票において、その対象要件の一つに介護保険の要介護5の認定が必要となる。要介護度が低い高齢者でも、寝たきりや移動が困難な方がいることから、郵便投票の対象者を拡大すべきと考えerがどうか。

答

国の設置した研究会では、対象範囲を要介護3へ拡大すべきと提言しているが、法改正に至っていない。高齢社会の



若い世代にも関心を持ってもらうよう、学生アルバイトの雇用などで選挙啓発

投票率向上に向けた

選挙啓発の取り組みは

問

選挙は国民が政治に参加し、その意思を反映できる重要な機会であり、正しく機能するためには、投票率の向上が必要不可欠である。投票率の低い若い世代が関心を持ち、選挙を身近に感じられるよう、学生を対象に行っている選挙事務のアルバイトについて聞きたい。

答

学生アルバイトは選挙啓発の一環で行っており、市内大学のほか、市ホームページや広報紙でも募集している。3年7月の都議会議員選挙では、

95名の応募があり、受付や投票用紙交付などの事務に学生が従事した。

市立学校における主権者教育の充実への取り組みは。

答

徳や、総合的な学習の時間等を中心に、教育課程全体を通じた指導の充実を図っていく。また、児童・生徒にとって身近な社会であり、学校生活の充実等を目指す児童会や生徒会の活動などは、主権者としての意識を養う上で重要であることから、同じく充実を図っていく。

公有財産

市有地の活用を

問

本市で未利用となつている土地や建物の中には、市民や民間の視点からは活用の希望がある資産もあり、賃料等の収益や、市民生活・福祉の向上につながるものが期待できる。活用に向け、効果的な情報発信ができるか。

答

未利用の市有地を市民が有効に活用することで、維持管理等につながるが、双方にメリットがある。周辺環境にも十分に配慮し、有効に土地が活用できるような情報発信の方法

公共施設の管理は

問

持続可能なまちづくりを目指す上では、既存施設を有効活用しつつ、集約・再編を進め、コスト管理を意識することが重要と考える。公共施設マネジメントの取り組みは。

答

既存施設や土地の有効活用に全庁的に取り組む資産利活用推進会議を設置し、検討しているほか、全施設で個別施設計画を策定し、老朽化対策を進めている。また、3年10月からは、新築や改築等の整備も推進会議で協議を開始しており、ライフサイクルコスト※などの削減を図っていく。

※ライフサイクルコスト＝建築物の企画・設計の段階から解体処分までにかかる総費用。



未利用の市有地を一時的に民間に貸与し、駐車場で有効活用（大横町消防署跡地）

一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します

- ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
- ②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問の
ようす（一括質問方式）

産業振興

中小企業の販路開拓支援は

問 コロナ禍の中、多くの中小企業が厳しい状況にある。企業同士をつなぎ、市内中小企業の販路を広げる支援ができないか。

答 自立した経営には、企業同士をつなぐことによる、新たなビジネスチャンスの創出が重要であり、そのため、企業の抱えている課題や、技術の強みを本市が把握する必要がある。他市では、金融機関等と連携し、企業同士をつなぐ例などもあるため、今後、実効性のある支援策を研究していく。

東京たま未来メッセを核に 地元にも有利な仕掛けを

問 本市では、イベント等をきっかけとして、初めて訪れた人に、八王子そのものに興味を持ってもらう仕掛けが薄いと考える。都が開設する東京たま未来メッセで、国際会議等が開催される際に、本市の豊富な資源と結ぶなど、このチャンスを最大限にいかしてもらいたいどうか。

答 本施設は、企業や大学等の交流による新たなビジネス



10月の開業に向け、都が建設している東京たま未来メッセ（都立多摩産業交流センター）

スチャンスの創出が重要な使命となつている。本市を中心とする多摩地域は、先端技術を有する企業が集積しているため、新たな技術等を生み出す「イノベーション創出拠点」となるよう取り組んでいく。

学校教育

子どもの立場で議論を

問 中学校の部活動は、教員の働き方改革等の視点から、さまざまな議論が行われてきたが、大人の都合ではなく、子どものための視点を決して忘れてはならないと考える。今後の部活動のあり方は。

答 部活動指導員など外部人材の活用を進めているが、

生徒の多様な活動機会の確保には課題もある。国の動きを注視し、学校生活等をより豊かにする活動とするため、学校教育だけではなく、地域教育等の視点を含め、持続可能な部活動を実現していく。

問 近年、合理的とは言えないような校則が報道され、国からも見直しに関する通知があった。本市中学校の校則の見直しに、生徒の意見を積極的に取り入れるべきではないか。

答 生徒会活動等で生徒の意見を集約し、議論する場を設けており、学校の服装や頭髪等の決まりについて改定を実現した中学校もある。今後も、生徒が主体的に学校生活を充実・向上させることができる校内の体制づくりのため、全市立中学校へ指導・助言していく。

生きる力を特別活動で

問 学校行事等の特別活動を通し、コミュニケーション力を高め、生きる力を育むことで、学校が楽しめる場となり、いじめ等が起きない土壌ができると考える。この力を育成するため、特別活動を充実してもらいたいかどうか。

答 特別活動は、人間形成に重要な役割を果たしており、コロナ禍の中でも中止すること



新型コロナウイルス対策を行い、実施した特別活動の一つである移動教室

なく、各学校が工夫し、積極的に実施してきた。今後も、児童・生徒や地域の実態を踏まえた特別活動を充実させる取り組みを支援していく。

きめ細やかな支援教育を

問 発達障害の傾向があり、特別な支援を必要とする児童・生徒が増加する中、特別支援教室を中心とした、きめ細やかな支援教育を充実してもらいたいかどうか。

答 通常の学級で、学校生活を過ごせることが指導目標であり、その支援のための学校サポーターを配置している。また、本教室を退室後も一定期間、支援が必要であるため、学校サポーターの活動経費を増額した。今後も、発達障害のある子どもたちが自分らしい生き方を見つけ、将来の夢や希望を実現できる教育を行っていく。

本市議会の



質問内容 (議案外の質問に限ります)

本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間

答弁を含め、一人当たり60分以内です。

子育て支援

保育施策の充実を

問 保育コンシェルジュは、保護者からの利用希望に対し、家庭・就労状況等に合った幼稚園や保育園、保育ママ(家庭的保育)等の仕組みを紹介している。しかしながら、その素晴らしい取り組みがインターネットでは検索できず、市民への周知不足と考えるがどうか。

答 広報紙や入園のしおりで行っていることを周知している。今後、子育て応援サイト等で保育コンシェルジュの名称を使用し、役割や取り組みを周知し、気軽に相談してもらえよう、認知度を高めていきたい。

問 入園に関する相談を市窓口で行っていることを周知している。今後、子育て応援サイト等で保育コンシェルジュの名称を使用し、役割や取り組みを周知し、気軽に相談してもらえよう、認知度を高めていきたい。

答 広報紙や入園のしおりで行っていることを周知している。今後、子育て応援サイト等で保育コンシェルジュの名称を使用し、役割や取り組みを周知し、気軽に相談してもらえよう、認知度を高めていきたい。

問 虐待が疑われる場合は、子ども家庭支援センターが主な相談窓口となる。また、幼児教育・保育センターのアドバイザーが相談窓口になることも合わせて、保育ママへの声掛けに努め、相談しやすい体制づくりや、保育に専念できる支援を充実させていく。

子ども家庭支援センターの体制強化を

児童虐待対策など、子どもにかかわる施策を積極的に推進してもらいたい。子ども家庭支援センターの充実に対する考えは。

問 児童虐待対策は、子どもの命や成長にかかわる極めて重要な施策である。児童虐待

答 児童虐待対策は、子どもの命や成長にかかわる極めて重要な施策である。児童虐待

問 家庭的な環境で保育を提供する保育ママに対する支援を聞きたい。

答 保育ママは、保育者の居宅で家庭的な雰囲気の中、少人数の0・2歳児に対し、きめ細やかな保育を行う市の認可施設である。市は、運営の相談や補助金申請書の作成支援のほか、保育ママに対する保護者等の苦情に対応している。

問 園児のようすから家庭での虐待を疑い、心配になるなど、保育ママが悩み、孤立しないための支援体制は。

答 虐待が疑われる場合は、子ども家庭支援センターが主な相談窓口となる。また、幼児教育・保育センターのアドバイザーが相談窓口になることも合わせて、保育ママへの声掛けに努め、相談しやすい体制づくりや、保育に専念できる支援を充実させていく。

問 子どもの相談窓口となる。また、幼児教育・保育センターのアドバイザーが相談窓口になることも合わせて、保育ママへの声掛けに努め、相談しやすい体制づくりや、保育に専念できる支援を充実させていく。

高齢者

誰もが暮らしやすいまちへ

問 令和7年に団塊の世代が75歳を迎えることから、介護需要の増大に向けた地域包括ケアシステムの強化が必要であると考えますがどうか。

答 「いつまでも『望む生活』を送ることができる生涯現

※2 8050問題※80歳代の高齢の親と、50歳代の子どもの組み合わせによる社会的孤立の問題。背景に親の介護や病気等の複合的課題を抱えている。



※1 出典

一般質問を行った議員です(発言順)

質問者の発言の題目などはこちら↓



12月3日 荻鈴伊鈴西馬川 田木藤木室場村日 米勇忠玲真貴奈 蔵次之央希大美	12月2日 相西若富福小村 澤本尾永安林松 耕和喜純 秀 太也絵子徹司徹	12月1日 日前梶及渡安望 下部田原川口藤月 広佳幸賢 修翔 志子子一楨三平	11月30日 美岩石久岸浜若木 美濃部田井井田中林田 弥祐宏博功賢 生樹和美典司修彩
--	--	--	--

道路交通

安全な交通空間の確保は

問 歩道が整備されていない狭い道路における歩行者の安全対策は、どのように行っているのか。

答 ガードレールなど防護柵の設置が困難な場合は、注意喚起の路面標示等を施している。また、通学路に関しては、路側帯や交差点などのカラー舗装について、市独自の基準を設け、安全対策に努めている。

問 自転車は車道走行が原則となつているが、自転車車が車道を安全に走行できる道路設計についての考えは。

答 今後整備する都市計画道路は、計画段階から自転車



通学路のカラー舗装



自転車ナビマーク

安全に移動できる交通空間の確保のため、生活道路等にも安全対策を

走行を想定した設計とすることになっていく。幅の狭い生活道路等は、自転車走行に必要な幅を確保できないため、自転車ナビマーク等で、自転車が通行すべき部分と進行すべき方向を示していきたい。

生活道路にも陥没対策を

問 道路陥没を未然に防ぐための道路空洞調査については、最新の技術を採用し、市で位置付けた重要路線を調査しているとのことである。それ以外の生活道路にも、優先順位を定め、計画的な調査を実施してもらいたいがどうか。

答 現在、生活道路の調査は必要に応じて行っている。事前の調査で陥没を未然に防ぐことは重要と考えており、重要路線の空洞調査が4年度に一巡目を完了することから、その後の調査路線については、今後、見直しを含め検討する必要があると考えている。

環境・資源

市民参加の温暖化対策を

問 環境配慮行動に取り組んで貯めたポイントを、エコ商品等と交換できる「はちエコ

ポイント」事業へ、さらに多くの市民が気軽に参加できるようスマートフォンアプリを導入してはどうか。

答 より多くの市民に、家計にも地球にも優しい本事業を普及していく必要があると認識している。アプリの導入に当たっては、他の制度等を含め、まずは調査・研究していく。

問 未来を担う子どもたちに向け、温暖化防止についての啓発を積極的に行ってもらいたい。啓発活動を行う、地球温暖化防止活動推進員の人数が少ないうちではないか。

答 子ども向けの啓発活動は必要と考えており、子どもたちが、より良い環境を目指し行動を起こすきっかけになるよう、推進員が学童保育所で省エネの大切さを伝える講座を行っている。推進員の人数については

は、伸び悩んでいると認識しており、大学生等の若者にも興味を持ってもらえるよう、活動を広く周知していきたい。

ごみの資源化は

問 環境問題解決の一助となる生分解性プラスチック※の原料として活用するため、生ごみの資源化への取り組みは。

答 さまざまな技術の導入に向け、民間企業との意見交換等を重ねている。生ごみの資源化は、新たな設備などが必要であり、今後の施設整備の方針と一体で研究を進めていく。

問 高齢化の進展に伴い、使用済み紙おむつの増加が予測される。都の動向などを踏まえた資源化への考えは。

答 紙おむつのリサイクル推進に向けた都の実証事業に採択された企業が、本市を事業の対象地としている。本市は、この事業で実現性や効果を検証し、中間処理を行う民間施設の導入可能性等も精査した上で、方向性を決定していく。

※生分解性プラスチックは通常のプラスチックと同様に使用でき、使用後は微生物の働きで最終的に水と二酸化炭素に分解され、自然界へと循環するプラスチック。

議会活動レポート

議案審議や一般質問以外にも、各委員会がテーマを決め調査する所管事務調査など、さまざまな活動を行っています。

文教経済委員会

調査テーマ：児童生徒の登校支援
～マンパワーとICTの活用～

【所管事務調査】

10/20 意見交換会「登校支援の現状」
(市職員の心理相談員・SSW※2と)



オンライン視察「民間教育機関クラスジャ
パン小中学園の取り組み」

11/16 ⑩登校支援に係るICTの活用状況等

総務企画委員会

調査テーマ：ポストコロナを
見据えた危機管理の在り方

【所管事務調査】

11/16 ⑩防災における情報収集・発信の課題等
11/26 研修会
「八王子における市民の災害レジリエンス※1」



講師：東京都立大学教授 市古太郎氏

12/7 ⑩11/26開催の研修会に関する意見交換

【市からの報告事項】

11/16 デジタル・トランスフォーメーション(DX)
推進計画 など

都市環境委員会

調査テーマ：水のまちづくり

【所管事務調査】

10/20 現場視察(南浅川、六本杉公園付近 など)
10/21 現場視察(浅川、大栗川 など)



子安町三丁目湧水水路



大栗川(堀之内番場公園脇)

10/22 オンライン勉強会「水のまちづくりに関する
国制度等」(説明者：国土交通省関東地方整備局 椎名紀幸氏・清宮敏之氏)

11/19 ⑩全国都市緑化はちおうじフェア南浅川会
場におけるイベント実施状況
懇談会「水のまちづくり」(全国都市緑化
はちおうじフェア南浅川会場におけるイベ
ント協力者と)

【市からの報告事項】

11/19 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想 など

ICT導入検証会議

11/8 次回定例会に向けた改善点
12/22 定例会での運用についての検証 など

長期ビジョン特別委員会

12/10 ⑩長期ビジョンの策定状況

厚生委員会

調査テーマ：幼少期における発達障害
の現状及びその相談支援体制/
こども基本条例に関する調査・研究

【所管事務調査】

10/21 研修会「幼少期における発達障害児の現
状・支援」(講師：島田療育センターはち
おうじ所長 小沢浩氏)

オンライン研修会

「子どもの権利と子ども条例」

(講師：山梨学院大学教授 荒牧重人氏)

11/10 オンライン視察(岩手県奥州市議会)
「子どもの権利に関する条例」



11/19 懇談会「幼少期における発達障害児の療育
現場における現状・課題」

(すぎな愛育園園長 野田久美子氏と)

12/8 ⑩幼少期における発達障害の現状 など
12/22 視察(西東京市)「子ども条例」など

【市からの報告事項】

11/19 はちまるサポート長房の開設 など

市議会からのお知らせ

■会議の様子はホームページで
本会議などの模様は、市議会
ホームページで生中継するほか、
おおむね7日後から録画を配信
します。

会議の様子はこちら↓



詳しくは会議録で

本紙掲載の質疑の詳細など、
本会議や各委員会の発言を掲載
した「会議録」や「委員会記録」
は、市立図書館などで閲覧でき
ます。また、市議会ホームペー
ジにも掲載しています。

なお、3年第4回定例会の本
会議の会議録は、2月中旬に完
成予定です。

会議録はこちら↓



■掲載内容についてのご意見
掲載内容についてお気付きの
点があれば、庶務調査
課へお寄せください。

市議会ホームページでは、ア
ンケートも実施しています。皆
さまのご意見や感想をお聞か
せください。

「ひびき」
アンケートはこちら↓



※1 レジリエンス＝困難で脅威を与える状況にもかかわらず、うまく適応する過程や能力のこと。

※2 SSW(スクールソーシャルワーカー)＝不登校・いじめ対策において、子どもの環境改善を支援する社会福祉士等の資格を持つ者。

令和3年度 議会報告会 @ひびき



令和3年度議会報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度と同様に対面での開催を見合わせ、本紙での特集と、それに連動した動画を配信することとしました。

テーマは、各常任委員会が今年度から新たに取り組んでいる「所管事務調査」です。

議長・副議長からのメッセージ

議会改革の取り組み



吉本 孝良 議長



中島 正寿 副議長

市議会では、平成26年度に議会基本条例を施行し、議会改革に取り組んでいます。今年度は、ICTを用いて効率的な議会運営、情報の共有化を図るため、タブレット端末等を導入しました。また、常任委員会が所管する事務について主体的にテーマを設定し、専門性を発揮した活発な調査活動ができるよう、所管事務調査を開始しました。今後、各常任委員会が調査研究を進め、政策提案などを行うことで、議会機能の一層の強化を図ってまいります。

今年度の議会報告会

市民に開かれた議会を目指し、毎年、テーマを設定し、議会報告会を開催しています。今年度のテーマは、各常任委員会がそれぞれ活動を始めた所管事務調査です。そこで今年度と来年度の二カ年にわたり、この取り組み状況をお知らせします。紙面と動画をご覧ください。皆さまのご意見をお寄せください。

文教経済委員会

<調査テーマ>

児童生徒の登校支援

～マンパワーとICTの活用～

本市の不登校の児童・生徒が千人を超え、その要因が複雑化する中、人的資源を含めた支援の充実が求められています。また、ICTを活用した学びは、登校支援にも有効であることから、文教経済委員会では、「児童生徒の登校支援～マンパワーとICTの活用～」をテーマとしました。

現状把握のため、本市で登校支援に携わる職員との意見交換や、ICTを活用した支援を行う民間フリースクールのオンライン視察を実施しました。今後調査研究を行い、安心して通える学校づくりや、不登校の児童・生徒の社会的自立のため、必要な支援ができるよう、市への提言等を目指します。



若尾 委員長



総務企画委員会

<調査テーマ>

ポストコロナを見据えた危機管理の在り方

本市では、これまでの災害を教訓に、さまざまな防災・減災対策を講じてきましたが、一昨年から我が国でも新型コロナウイルスという未知のウイルスによる新たな脅威が発生しました。これを契機に、今後の危機管理の在り方は、従前の対策に加え、感染症対策と合わせた複合災害を想定した対策が求められることから、総務企画委員会では、

「ポストコロナを見据えた危機管理の在り方」をテーマとし、調査研究してまいります。さらなる市民生活の安全・安心に向けた体制構築のため、先進自治体の取り組みや、有識者などから学びを深め、本市の危機管理能力の強化につなげてまいります。



岩田 委員長





※動画も議員が作成しました。



議会報告会へのご意見を募集します

議会報告会(本紙面及び関連する動画)への皆さまからのご意見等を募集します。スマートフォンなどから左記の二次元コードを読み込むか、市議会ホームページを検索することで、議会報告会のアンケートにご回答いただけます。各常任委員会の調査テーマや活動、そのほか市議会へのご意見・ご要望などをお寄せください。また、住所と氏名をご記入の上、メールまたはFAXや郵送にて、本紙の最終ページにある連絡先へ、ご提出もいただけます。今後の参考といたしますので、皆さまのご意見をお待ちしています。

◎締切 2月28日(月)まで



都市環境委員会

＜調査テーマ＞
水のまちづくり

都市環境委員会では、本市の魅力である豊かな水について、その環境の保全や地域振興、教育等の角度から調査研究を行い、今以上に市民が水のある空間を楽しめるよう「水のまちづくり」をテーマとしました。

これまで市内の現地調査のほか、河川環境事業等の勉強会、水辺で活動している地域の方や事業者との懇談会を実施しました。今後、ソフト・ハード両面から具体的な施策展開に落とし込んでまいります。



馬場 委員長

厚生委員会

＜調査テーマ＞
幼少期における発達障害の現状及びその相談支援体制／こども基本条例に関する調査・研究

厚生委員会では、子どもの発達障害を早期発見し、支援につなげる相談機関の拡充を図る観点から「幼少期における発達障害の現状及びその相談支援体制」と、国連の子どもの権利条約の趣旨を具現化する法的根拠の必要性の観点から「こども基本条例に関する調査・研究」をテーマとしました。

現在は、現場で尽力いただいている専門家は、各テーマの調査研究をさらに深めるとともに、本委員会において合意形成を図り、所管事務調査の成果としての政策要望や条例制定を目指してまいります。



五間 委員長



次回の定例会の主な予定

令和4年(2022年) 第1回定例会 会期：2/22～3/29

日	月	火	水	木	金	土
		2/15	16	17	18	19
		招集告示日		議会運営⑤		
		22 開会日	23	24	25	26
		議会運営⑤ 本会議(ネット) 予算特(ネット)	天皇誕生日	総務企画⑤ 文教経済⑤	厚生⑤ 都市環境⑤	
27	28	3/1	2	3	4	5
				議会運営⑤ 本会議(ネット) (代表質疑等)	本会議(ネット) (委員会 審査報告等)	
6	7	8	9	10	11	12
			予算特(ネット) (総括質疑)		総務企画⑤ 文教経済⑤	
13	14	15	16	17	18	19
		総務企画⑤ 文教経済⑤	厚生⑤ 都市環境⑤			
20	21	22	23	24	25	26
		春分の日	予算特(ネット) 議会運営⑤			
27	28	29 最終日				
		本会議(ネット) (予算採決等)	本会議(ネット) (一般質問)	⑤：委員会 予算特：予算等審査特別委員会 ⑤： // 分科会 (ネット)：市議会ホームページで中継		

- 会議(議会運営⑤を除く)は、10時から開会します。
- 閉会中の議会日程は、市議会ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ：議会日程…議事課 議場コンサート…庶務調査課

傍聴者からの声



市民や現場の声も 大切に議論を

後藤 史子さん
(犬目町)

議場に入った途端、厳かな空気が漂い、高校の修学旅行にて、国会議事堂の赤じゅうたんを歩き、感動したことを思い出しました。

議場へ足を運ぶきっかけとなった議場コンサートは、ひと時の安らぎを感じ、音楽って素晴らしいと思いました。

一般質問では、議員一人ひとりが、私たち市民が安心して住める八王子を考え、地域包括ケアシステムなどの課題を細部にわたり、拾い上げ議論されているようすを目の当たりにしました。予定があり、すべて傍聴できず残念でしたが、多くの方に傍聴に訪れてほしいと思いました。今後も、市民や現場の声を大切に、議論してもらいたいです。

議場コンサートの出演者募集

11月30日にコンサートを再開



演奏＝後藤 泉さん(デジタルピアノ)
数井 学さん(ブルースハーモニカ等)

市議会では、定例会の初日に出演できる方(市内在住・在勤・在学の個人や団体の方の楽器等の演奏)を募集しています。*

募集情報は
こちら⇒



ひびき 表紙写真展

皆さまの力作を展示

本紙の表紙を飾る皆さまからの応募写真。今年も力作ぞろいの写真を展示します。

会場・日時 *

八王子駅南口総合事務所

2月2日(水)～2月14日(月)
午前8時30分～午後7時
(11日を除く。土・日曜日は午後5時まで)

市役所 1階市民ロビー

2月17日(木)～3月8日(火)
午前8時30分～午後5時
(土・日曜日、祝日を除く)

問い合わせ：庶務調査課

年間最優秀賞を決定

3年に発行した本紙の表紙に採用された4作品の中から、最優秀作品は、緑町在住の山内裕至さんの「冬への道」に決定しました。

次号も 表紙写真を募集

◆募集内容

春・初夏をイメージした市内の風景など、第1回定例会号(5月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真(写真の縦・横は問いません)

◆締切

3月30日(水)まで

募集情報は
こちら⇒



*令和3年第4回定例会では、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことから議場コンサートを再開しました。今後の状況により、議場コンサート及び表紙写真展の予定を変更する場合がありますので、最新情報は市議会ホームページでご確認ください。